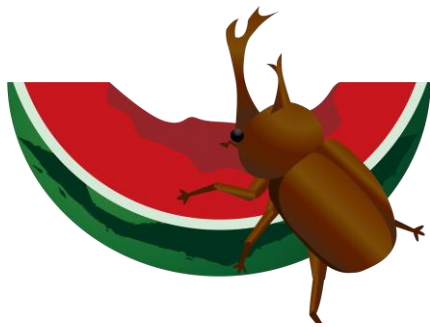




びすけっと

224号—2021年8月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんにつながれるように…

Instagram始めました！

https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/



がんの子どもを守る会 2021年度年次大会 web 講演会

2021年6月6日に標記の講演会が開催されましたので、概要をお伝えします。詳しい内容は後日がんの子どもを守る会の機関誌「のぞみ」に掲載される予定ですので、その際改めてお知らせします。(柳戸)

「小児がん経験者の健康管理」 愛媛県立中央病院小児医療センター長 石田也寸志先生

1. 治療の進歩としての晩期合併症

原疾患または治療の直接的・間接的な影響で生じた合併症。治療の効果やリスクを天秤にかけながら治療を計画するが、まだ不明な点が多い。何らかの晩期合併症を持つ経験者は診断後30年で60%を超え、要治療は30%になる(北米の例)。生命に関わるものもある。聖路加国際病院では経験者への人間ドックによる検診を実施し、フォローアップに役立てている。

2. 健康管理の基本

経験者の健康問題は、加齢によるものと晩期合併症によるものがある。診断と治療の内容によってどんな合併症がいつ頃起こりやすいか予測が可能なため、年齢相応のヘルスリテラシーが重要。基本的生活習慣を獲得し、セルフケア行動ができるようにする。思春期には、自分で医療機関への相談や様々な手続きができるようにする。

3. 治療後晩期合併症による重要な健康問題

臓器機能の問題、生殖機能に関するもの、心理・社会的問題、二次がん、成長・発達の影響などがある。予期しない合併症の可能性を考え、疾患と治療の正確な情報を持ち、相談できる医療機関があることが望ましい。小児がん経験者には、会社の検診では不足する面がある。20代から生活習慣病に注意する必要がある。(講演では、様々な合併症について詳細なお話がありました。柳戸) 治療可能な問題を見逃さないことが重要。(次号につづく)

「国の小児・AYA がん対策の現状」 厚生労働省健康局がん・疾病対策課 成田幸太郎 氏

がんの子どもを守る会の小児・AYA世代がん対策政策提言のためのワーキンググループで、標記の講演が行われました。国のがん対策の経緯、第3期がん対策推進基本計画の概要、小児がん・AYA世代がん医療提供体制、ライフステージに応じた相談支援、就労支援、妊孕性温存療法研究促進事業などについてのお話が、がんの子どもを守る会の機関誌「のぞみ第206号」に掲載されています。

ご覧になりたい方はびすけっとまでご連絡ください。

みんなを笑顔に！病気の子もたちからのエール モザイクアート用の写真を大募集

詳しいことは、びすけっとのInstagramをご覧ください。

「がんと妊孕性」セミナー

YouTube つばさチャンネルに「がんと妊孕性」セミナーの動画がアップされました。

こちらで視聴できます。 <https://www.youtube.com/watch?v=URHrUcP2Vzo>

You Tubeはこちら→



今回のびすけっとは、**9/14(火) 11:00～**

相談室B(2F 総合受付奥)

※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、以下の点にご注意下さい。

- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、職員専用通路内にある来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、来る前にインスタやLINEで確認してね。

びすけっと連絡先：代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708 (留守電)

e-mail yanagido@t.zaq.jp

柳戸LINE、QRコード
ラインでのご連絡もOK!

